

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅲ	NSP33_003	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	対面授業終了時、水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要	成人看護援助論Ⅰ・Ⅱで取り上げた健康障害の対象者の事例について情報収集、アセスメント、看護診断、看護計画、評価までの一連の看護過程の展開方法を修得する。対象者の発達段階・発達課題、生活と社会環境、健康の状態を考慮し、既習の諸理論を応用した看護過程の展開を学ぶことにより、看護の思考過程を学習する。授業は、学内で講義および演習、GWにより行う。				
学習上の助言	成人看護援助論Ⅲは、3 年次後期からの成人看護学実習につながる重要な科目である。授業内で実習を想定した事例を示すので、積極的に授業に臨むこと。				
教科書	2年次看護過程演習で使用した以下の教科書を使用する。 看護の基本となるもの/著Vヘンダーソン/日本看護協会出版会/ (2018) 系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ/医学書院/ (2019) [2冊指定]				
参考書	授業内で示す。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護における看護過程のもつ意味が説明できる。	NS(2)(3)			
②	ヘンダーソン看護論の重要概念が説明できる。	NS(2)(3)			
③	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開方法が説明できる。	NS(2)(3)			
④	ヘンダーソン看護論により事例の情報整理・アセスメントが記述できる。	NS(2)(3)			
⑤	アセスメントから看護関連図および看護上の問題を記述できる	NS(2)(3)			
⑥	事例の看護上の問題の統合を行い、看護計画の立案ができる。	NS(2)(3)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目のガイダンス/問題解決技法としての看護過程について復習とヘンダーソン看護論の重要概念を再確認する。(事例①の提示)	講義	看護過程演習の学習内容を振り返る。	1	
2	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開① 事例 1: 対象理解 (対象理解に必要な知識の学習)	講義	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
3	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開② 事例 1: 情報整理・アセスメント	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
4	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開③ 事例 1: 情報整理・アセスメントの続き	講義 GW	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
5	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開④ 事例 1: アセスメントの修正・看護上の問題の抽出、看護計画立案、関連図	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
6	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑤ 事例 1: アセスメントの修正・看護上の問題の抽出、看護計画立案の続き、関連図	講義 GW	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
7	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑥ 事例 1: 看護上の問題の抽出、看護計画立案	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。発表会の準備を行う。	1	
8	発表会 (その 1) ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑦ 事例 2: 事例②の提示	講義 GW	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
9	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑧ 事例 2: 対象理解 (対象理解に必要な知識の学習)	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
10	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑨ 事例 2: 情報整理・アセスメント	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
11	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑩ 事例 2: 情報整理・アセスメントの続き	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
12	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑪ 事例 2: アセスメントの修正・看護上の問題の抽出、看護計画立案、関連図	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
13	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑫ 事例 2: アセスメントの修正・看護上の問題の抽出、看護計画立案の続き、関連図	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。	1	
14	ヘンダーソン看護論による看護過程の展開⑬ 事例 2: 看護上の問題の抽出、看護計画立案、発表準備	講義 演習	事例展開に必要な参考文献を検索する。発表会の準備を行う。	1	
15	発表会 (その 2) 成人看護学実習での過程展開の実際の展開方法等について/看護の継続について	講義 GW	事例展開のまとめ授業のまとめを行う。	1	
試	達成度評価、評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/成人看護学]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	10	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	5	10
問題を発見・解決する力		0	30	0	0	5	35
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	事例 1、事例 2 について評価する。				提出された事例について授業中に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①	✓	成果発表時の取り組み状況について評価する。				発表時に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		授業への取り組みを評価する。				授業中、適宜助言する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
担当教員：◎小林 美雪、吉岡 睦世、堀口 まり子							
教員の実務経験： 科目責任者は看護師として 23 年の臨床経験を有しており、臨床での場面を想定した看護過程の展開を効果的に学べる環境である。 実践的授業の内容： 実務経験のある教員の指導のもと、成人看護学の看護過程の基本的について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。							
・対面授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業への参加を認めません。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。							